

令和7年度 第1回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和7年7月10日（木） 10時00分～

開催場所：備前市民センター 2階 講座室

出席委員：長崎 信行【備前市長】

畑下 昌代【備前市 市民生活部長】

花岡 茂明【岡山県タクシー協会 和気支部 副支部長】

雄島 仁 【日生交通有限会社 代表取締役】

橋本 恵正【備前市自治会連絡協議会 会長】

奥田 泰彦【備前市自治会連絡協議会 副会長】

臼井 勇二【備前市自治会連絡協議会 副会長】

延本 大作【備前市老人クラブ連合会 会長】

田原 隆雄【備前市老人クラブ連合会 副会長】

竹本美知子【備前市老人クラブ連合会 副会長】

宮地 亮平【中国運輸局 岡山運輸支局 首席運輸企画専門官】

中務 博文【岡山県備前県民局 東備地域管理課長】

大東 正虎【ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科 教授】

柄折 太介【西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社 地域交通課長】

國廣みゆき【岡山県県民生活部 交通政策課 主幹】

服部 博昭【瀬戸内市 総合政策部 企画振興課長】

則枝日出樹【和気町 総務部 総務課長】

出席委員（代理出席含む） 17名

委任状提出委員 3名

事務局：出射 詩都【備前市 市民生活部 交通政策課長】

河上 洋之【備前市 市民生活部 交通政策課長代理】

下山 真 【備前市 市民生活部 交通政策課 主事】

千田 博人【備前市営バス管理事務所 運行管理者】

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 備前市公共交通会議委員の委嘱および役員選任

4. 協議事項

(1) 備前市公共交通会議事務局規程および財務規程の改定（案）について

事務局：資料に沿って説明

会 長：説明について質問があるか。

委 員：協議事項1についての質問なし

会 長：承認してもらえるか。

委 員：異議なし

(2) 令和7年度備前市公共交通会議予算（案）について

事務局：資料に沿って説明

会 長：説明について質問があるか。

委 員：協議事項2についての質問なし

会 長：承認してもらえるか。

委 員：異議なし

5. 報告事項

(1) 令和7年度備前市デマンド型乗合タクシーの運行体制について

事務局：資料に沿って説明

会 長：説明について質問があるか。

委 員：国土交通省のホームページを見ていましたら、公共交通についてはできるだけ利用者の選択肢が多くなるように補助金を使いなさいというように書かれていたんですけど、近隣の例えば玉野市。時刻は5時までオッケーとか、それから既存のタクシー会社さんもしっかり走っていらっしゃる。それはどこが違うのか。備前市では午前中だけとか、それを1時間延ばしてというような、どうしてそういうことがうまくいかないのかというのを教えてほしいです。

会 長：先ほどのご説明にあったように、タクシー事業者様との協議の上でその営業を圧迫しないようにとそういう合意があったので、とりあえずは午後1時までというところに話が落ちていくんだという風に理解しております。

委 員：玉野市さんの事例が出ましたのでご説明させていただきますと、備前市さんとのやっぱり大きな違いは、玉野市さんの場合は、同じような乗合タクシーに関しては、運行委託をタクシー事業者さんにやってもらっています。つまり、タクシー事業をやrittつも、そこでタクシー事業者さんに収入が入る仕組みになっている。なので、タクシー事業者さんと協力しながらやっているというのが玉野市さんの状況です。

委 員：先ほどお話がありましたが、タイミング的にここでタクシー事業者の実情について

のをまとめてきましたので、お話しさせていただけたらと思います。

先日、朝早くに電話がありました。慌てた声のお客さんがムカデに刺された。当然すぐ参りました。また別の日には入院しているおじいちゃんの容態が、これは夜間だったのですが、すぐに来てほしい。当然すぐ参りました。これらの方々は、いわゆるお年寄りだけの世帯であり、たちまちの移動手段のないいわゆる交通弱者の方です。このような緊急の場合だけではなく、普段の病院通いにもご利用いただいているお客さんも当然おられますし、出張や観光でお見えになった方、お盆休みが近いですけど里帰りされた方々、その方々も交通弱者だと言えるのだと思います。そのような方々がタクシーを利用されるということは、我々タクシー事業者が安心して快適に暮らせる町づくりの一助となっており、地域の経済活動にも貢献しているものだと思っております。備前市内でデマンドタクシーが運行されるようになって2年と3ヶ月になります。先ほどお話がありましたが、全国各地で色々な形態でデマンドタクシーというものが運行されておりますが、そのほとんどがやはりタクシー事業者あるいはバス事業者さんに運行委託されて、利益が確保できるような体制をとられています。それに加えて、我々は法令を遵守し、経費や時間をかけて常に安全な運行を行っているプロである。デマンドを運行することによって経営に与える影響が大きいという判断で、タクシー事業者に委託をされているという全国でほとんどそういった格好を取られています。ところが、この備前市では少し状況が違っており、事業者と個人の方が同じ条件で運行し、そのデマンド車両が混在している状況にあります。デマンドが導入された当初、タクシーのお客さん、おばあちゃんがおっしゃいました。こんなできたらタクシーさん大変だね。いわゆる官業が民業を圧迫するっていうことですね。このおばあちゃんは、ご主人が以前うちでドライバーとしてお仕事をさせていただいてまして、タクシードライバーの実情っていうのはよくご存じな方だったんですけど、気が付いたらデマンドのお客さんになっておりました。先ほどもお話がありましたが、運行時間とかデマンドの運行エリアとかは、タクシー事業者への一定の配慮をいただいているのだとは思いますが。でも、この配慮自体、配慮が必要だということがお客さんの利便性の向上の足かせ、時間制限だとかエリア制限だとか、そういうのが必要だということが利便性の向上の足かせになっているんだと私は考えます。コロナ禍以降、様々な社会情勢、経済情勢の変化もあって、デマンド利用の影響だけでなく、タクシー利用者の方も減少の意図をたどっております。デマンドは弊社も運行させていただいておりますけれど、例えるならタコが自分の足を食べて生きながらえている状況、そのような状況なのかなと思います。先ほどもお話がありましたが、運行時間の延長などが予定されておりますけれど、そうなれば喜ばれる市民の方も多いのだろうと想像はできます。それに賛同することが、備前市全体に貢献するということになるのであれば、それもやむなしということで、今回賛同いたしました。

ただ、そのことでさらなる経営状態の悪化、以前うちは3台プラス1台、計4台での運行をしていたんですけど、現状で言えば1台プラス1台、もしくは休日は1台での運行になっております。デマンドの利便性が向上されることによって、デマンド導入当初備前市さんが示していたデマンド導入の目的が、高齢者をはじめ交通弱

者の交通手段を確保し、利便性の向上を図ること。その目的の対象者の方がさらに限定的になり、デマンドでカバーしきれないその他の交通弱者の方々は当然不便を強いられることにつながるのだらうと思います。そういった交通弱者の方々の存在と、それからなかなか大変な状況にある我々タクシー事業者の実情について、今後のデマンド運行方式の決定の判断材料の１つに加えていただけたらと思います。

私からは以上です。

会 長：というような事情がありまして、雇用を創出するという目的が市の方針としてあったようで、デマンドタクシーは一般の方が運転されるというようなことで、この会議においてはそのことについてどうなのかという議論がありましたけれども、市の方針として雇用を創出する方を優先させたというところですよ。これからまた利便性を考えていく上で、このドライバーの方は年度契約になっておりますので、こういう会議の中でいろんなご意見をいただきながら、今後どうしていくかを議論できると考えております。

委 員：このシステムが導入される以前は、高齢者はタクシー券を配布されたりして大変利便性が高かったと思います。それよりは、現在は随分落ちているんです。利用しようにもない。午後はあるいは土日は動いてないと。タクシー会社さんも、近隣の市町村に比べて随分備前市は少なくなっている。ですから本当に困っているんです。これをどうにかしてほしいです。極端に言えば数年前に戻していただきたいというようなそのぐらいのことです。そうすればタクシー会社さんも経営が成り立つ、そしてそれでいいんじゃないかと。このシステムの出だしのところで色々調査されたと思うんですけど、こういうことでもう午後はカットしようとか利用者が少ないからカットとかいうようなことは、それはおかしいと思うんです。元々、午前中の利用が多いのは当たり前です。そこを備前市が運営するといいいところ取りということになって、それこそ午後の利用者が落ちるところだけをタクシー会社さんにやりなさいというのでは、本当に誰が考えてもおかしいと思うんです。なぜこういうようなことになったのか、ちょっと私は詳しいことはわからないんですけど、本当にどうにか高齢者にとって選択肢がたくさんある方法が１番いいと思うんです。極端に言えば数年前に戻してっていうぐらいのことです。以上です。

委 員：このデマンドは無料なんですよ。無料で使っている人がほとんど限定されている、ハイヤー代わりに使っているというような事と、先ほど委員さんも言われたように、本当に我々高齢者が使えるようなことになっていないんじゃないかという事と、タクシー事業者さんの存続を含めて無料が果たしていいのかどうか、やはり広く使えるようになるよう話し合っていたきたい。高齢者のタクシー券の復活とかもう少し検討するべきじゃないかというような気がします。

事 務 局：ご意見ありがとうございます。デマンドタクシーの時間延長につきましては、午前中だけで病院に行ったら帰ることができないというようなご意見があります。とりあえず緊急的に１時間の延長をご了承いただいて、今回延長させていただく予定にしております。今年度システム導入されますと、車両の方の台数が効率的に回るようなことも想定されますので、制度について色々見直す時期になるかと思っております。今年度は交通計画策定もございますので、今お伺いしたご意見について、タクシー

チケットとかも含めて色々、チケットになると福祉部門とかそういったところとも横串で連携して色々今年度は見直していきたいと思っておりますので、またこの場でご意見その都度いただけたら、反映できるものは反映して進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員：現状ということで少し教えていただきたいんですけれども、非常に色々な難しい問題があって今回、1 時間延長していただくということはありがたいと思うんですけれども、もうざっくりでいいです。こんな質問すると怒られるかもしれませんが、病院の帰りの方々、どのぐらい救われるんですかというのが1つ。それから、今の運転手さんの募集の状況がどういうふうな状況になっているのかということが2つ目。

それから、議会でも話があったのかわかりませんが、前の市長の時には7人乗りのワンボックスまで入れるんだというような話がありました。その件はどうなっているのか。状況認識を1つにするためにぜひ教えていただきたいなと思います。

事務局：次の報告事項の中で、実績ということで資料をつけさせていただいております。

デマンドの運行状況ということで、真ん中のグラフのところでは病院ということで、2,141 名の方が利用していただいております。

これだけ全ての方がお昼の時の帰りを困っておるということではないとは思いますが、そのうちの方での人数がいくらかというのは把握できておりません。

また、先ほど委員さんからお話がありましたが、この1 時間延びたということになります。従来は12 時以降帰れない方はタクシーの方で運行いただいて自宅へ帰っていたという現状のところ、そこはタクシー事業者さんの収入というところがございます。ただ、ここでまた1 時間延びてしまうと、そこのお迎えのタクシー事業者さんの収入が減るというところで、そういった中でタクシー事業者さんの方で了解いただき感謝しているのですが、タクシー事業者さんが従来行っていた部分についてもデマンドが走っていくということになります。その中でも、デマンドを乗りたくても乗れないという方もおられたり、仕方なく介護タクシーとかタクシーを使っておられるという方もおられます。そういった方々との格差というのも生じているのは重々承知しております。そういった中で委員の話にもありましたように、タクシーチケットの復活とか、そういったことを今後、今年度の中で計画策定しながら考えていきたいと思っております。続きまして、7人乗りの車両の購入でございますが、委員が言われますように、今年度当初予算で予算を計上しております。

新市長になりましたので、その辺も協議させていただきまして現状から言いますと、そこまでの車両は必要はないというところの中でその予算については減額という風な形で進めているところでございます。以上です。

事務局：先ほども報告申し上げたんですけれども、今年度もうすでに3人増加、3台増車しております。現時点でも問い合わせがありまして、4人ほどお問い合わせであったり資料をくださいという方がいらっしゃいました。実際に今後協議をする中で、本当に応募を出してこられるかっていうところが不透明なところではあるんですけれども、その際には協議して各地に配車をしていきたいと思っております。協議をする上で、どちらに増車していくかというところで、後ほど実績を報告させていただくんです

けれども、現時点では件数が多いのが片上地区、香登地区、日生西地区の辺りなので、協議をする中でその応募のあった方が全く土地勘がないようであれば多いから香登ってというのはできないですけども、協議を重ねた上で件数の多いところから増車していこうかなと思っております。以上でございます。

委員：関連ですが、タクシー業者さん、今まで営業業者はダメだというようなことでありましたね。現状そうなんですよ。

事務局：この7月からの契約に関しては、タクシー事業者様とも契約をさせていただくような格好にしております。

委員：今、伊部駅とか備前片上駅に降りた観光客の方は、閑谷学校を見学したいとかいうような場合、何か交通手段があるのでしょうか。

事務局：現時点ではタクシーを使っていただく、もしくは市営バスで片上に来ていただいて市営バスをご利用いただくというような格好になっております。以前は備前焼ミュージアムという美術館があって、そこからシャトルバスが出ておりました。こちらに関しましては、新しく備前市美術館ができますので、今後観光課と協議をして、それが復活するののかということも踏まえて対応していかなければいけないという風には思っております。以上です。

委員：こちらにデマンド乗合タクシー運行エリアのチラシがあります。

私の居住しているところは日生東になります。左下の1番下のところになります。先日、ある方が吉永病院へ行きました。どうして行けるのって聞いたら、寒河から片上へ出て片上から吉永病院へ行きますって言われました。その方はもう80過ぎたお年寄りの方で、高齢者や交通弱者のための乗合デマンドタクシーなんですけれども、エリアの図を見ていただくと日生東からは伊里と日生西にしか行けません。吉永の方には行けないってということで、病院へ朝から行って今帰ってるよってというのが3時半ぐらいだった。もう1日ばかりで病院へ行っているんです。なんとかならないかなっていう話を先日聞きました。こういう問題がたくさんこの地区でもあるんじゃないかなと思います。このエリアができる前は、日生東は寒河地区しか運行できないということで、デマンドタクシーを使うことはほぼできない状況にありましたけれども、今回このエリア拡大で、伊里と日生西というところで日生病院にも行ける、買い物にも行けるってところで少し行動範囲が広がってきましたけれど、そういう風に吉永の病院へ行きたいって言っても行けない状況であるので、なんとかこの運行エリアのところもタクシー業者さんには本当に申し訳ないんですけども、何かいい方法があれば考えていただきたいなと思っております。以上です。

委員：先ほどのお話に戻りますけど、伊部駅には昼間だけという限定なんですけど、日生交通さんと香登タクシーさんが常駐するような格好になっております。

実は明日タクシー事業者の寄り合いがありまして、そこで検討材料として話があるんですけど、特に夜間、伊部地域のタクシーをどうするかだとか備前片上駅のタクシーをどうするかだとか、市内の事業者2社廃業されましたけど、残っているタクシー事業者の中でなんとか対応できないかということで協議をしてみたいです。まだ決定でもないんですけど、例えばJRさんをお願いしてタクシー不在の場合はこ

こへ電話してくれよとか、この業者が営業していますっていうポスターなりも駅の方へ貼らせていただくだとか、あるいは広報の広告面もちろん有料なんですけど使って、夜間もタクシーが動いていますからご利用くださいみたいなご案内をしようと思っております。先ほどのご質問に関しては以上です。

それから運行エリアのお話がありましたけど、正直それはなかなか厳しいものがございまして、市の方でタクシーチケットを配布するだとか、そういった方向でご検討いただけたらと思います。以上です。

委員：デマンド型乗合タクシーの新しいシステムを導入してグレードアップしていているんだというのがよくわかりました。皆さんのお話の中で、タクシー業者さんへの配慮であるとか交通弱者の方への対応、いろんな課題がまだいっぱいあるという風なことを思いながら聞かせていただいております。

1つこのチラシなのですが、今料金設定の話題も出ていましたけれど、この運行の内容の中で、利用料はマイナンバーカード利用では無料なんですけど、利用料金に一乗車小学生 100 円中学生以上 200 円という風に書かれているんですけど、平日の 8 時半から 13 時まで子どもは学校へ行っている状況です。ほとんど利用がないんじゃないかなと、小学生なんかは。小学生が 1 人でタクシーに乗るということもないだろうし、なんかの病気だったら親と一緒に行くというようなことで、ここの利用料金の書き方は一乗車何円とかいう風に料金設定にするのであれば、そう書かれた方が誤解がなくで済むのではないかなという風に思います。利用料金を設定するかどうかについてもいろんな考え方があると思いますので、ちょっと違和感を感じたので小学生 100 円、中学生以上 200 円というのは。ここは実情に合った料金設定なのでしょうか。

事務局：そちらに関しましては備前市営バスの料金に合わせている部分もありまして。市営バスの小学生が 100 円っていうところもありまして、それにデマンドタクシーも合わせているというような実情があります。

ただおっしゃられるように、平日の学校に行っている時間帯ですので、小学生の利用っていうのはほぼ 0 に近く、1 度かな。利用があった時にも親御さんであったり、おじい様、おばあ様と一緒に乗られてたというところもございまして。それも夏休みの期間にもう数回程度というような格好でしたので、今後マイナンバーカード提示で無料というところの見直しも含めてそちらの方も検討させていただけたらと思っております。以上でございます。

会長：ありがとうございます。その他ご意見等ございますでしょうか。

委員：予算案の蒸し返しになるかと思うのですが、予算を承認しておいて、国からの補助の事業の中で 1 億 3000 万のデマンドタクシーを配置する計画が進んでいるようですが、これについてタクシー業者さんにその協議があったのでしょうか。

事務局：委員が言われたその 1 億いくらかというものと、今回協議事項にあげているその 400 万の分は、補助金の種類が違います。計画は計画の方で国土交通省の方になりました。AI 配車システムの方につきましては内閣府で担当課はシステム構築課です。ただ、そういったものがゆくゆく入りますよというのはお話はさせていただいております。

委員：これを見てもみると、この国の補助制度がどんなものか知りませんが、吉備中央町との共同利用という計画で１億３０００万の事業計画が議会の方で承認されたということなんですけれども、こういう大きな問題なのでこの交通会議に事前に何らかの相談があってもいいんじゃないかと。

まして、そのデマンドタクシーを今後どうしたらいいのかという根本的なことについても、交通会議設置要綱によると、やはりこの会が重要な決定ができる会議だということなので、市長に対してはそれなりの意見が言える会議ではないかと思っています。そういう中で、議会でこう決まりましたからということで、報告だけならその意味がないんじゃないかと。前の市長がよく言っていたのが、私が決めたんじゃないんだと、交通会議の皆さんの中で決められたことなので文句言うなど。そういうような形で色々なことが全て進んでいきましたので、そういう意味も含めまして、今後交通会議の時には、事前に協議事項を資料として配布していただきたい。我々も個人の意見じゃなく老人クラブの代表で出てくるので、一応皆さんにこういう議案が出るので皆さんどうですかと聞く必要がある。それであえて聞かせていただいたんですが。デマンドシステム、これ議会の１人１人寄り添うデジタル暮らしを守る創生という、こういうものが議会で配布されてもうすでに１億３０００万の予算案が決定したということのようなんですけれども、我々の中には一切何も知らされていない中で黙っていたら、お前ら何してたんだって市民から責められるので、やっぱり教えていただきたいです。

事務局：委員が言われますその補助金につきましては、内閣府の方で内示をいただいております。旧デジタル田園国家構想交付金というのがありまして、そちらの方が新たな交付金の名前になりましたが、そちらの方で１億数千万の事業費全体がAI配車システムを入れるものではございません。先ほど委員が言われましたように吉備中央町が今すでにデマンドタクシーを運行している配車システムの方を共同で利用させていただく。ただし、そのシステムについては、備前市に合ったようにカスタマイズをして利用していくようになります。

その反面、我々もちょっと詳しくないんですけど、デマンド配車システムの方が担当で話をしているから詳細はわかるのですが、健康の方とも吉備中央町とタイアップして補助金を活用して事業を導入していくと、そういう風な交通と健康という形で今回の交付金を利用するという形でこれから事業者選定等になっております。

委員：ですからそういうことが着々と進んでいるんでしょ、１億３０００万の事業費はね。

それで、色々タクシー事業者さんなりこのタクシー券を含めて、皆さん、そんなお金があるならこっちの方に回してほしいという声がおそらく出ますよ。

これでどういようなことを目論まれている、希望されているのか、その辺やっぱりこの会議でこういうようなメリットがあるんですと、こういう風に市民にいい制度でデジタル実装型TYPEⅤ事業、これで１億２９００万、これがあるんだということをおそらくご存知ないじゃないですか。私もたまたまこんなことを議員さんから聞いたので、交通会議に出るならやっぱり説明が欲しいなと思うんです。

おかしいですか、私。皆さんどう思われますか。

事務局：委員が言われるように、そういった事業がこれからも動くということで、今日のデ

マンドタクシーの運行状況、運行についての中で、そういったシステムが入りますという報告の方をさせていただいております。

交通会議自体での協議案件という形ではないので、こういった形で事業が進んでおりますということで、報告という形で取らせていただいております。

会 長：このシステムの導入計画の乗合タクシーの導入の経緯ですけれども、当時それは自由に動けるような確かデマンドタクシーだったと思います。さすがにそれを導入すると、タクシー事業者さんへの打撃がかなり大きいので、ここで委員会に図ったところを否決されたということです。それでもう一度市の方で考え直していただいて、こういうエリア区分、学区の方で縛りをかけて、とりあえずは承認されたというような経緯があります。それではあまりにも狭すぎるということで、少し広げたというのが今の現状になっています。これをうまく解放させていくために、さっき聞いた話から推測しますと、このAIを使うことによって、あまり使われてないタクシーをよく使われる地域にうまく配車することによって、このエリア内でより良く動きやすいものを作っていくという考え方だと思います。ただし、時間制限を設けないとタクシーの方々が大変なので、今この話としてはそこに来ているということですかね。

委 員：ということは、これを集中管理するということなんですよ。

集中管理するということは、タクシー業者さんとかデマンドの人たちと協議ができてこれを導入されているんですか、ということを知りたいんです。その辺の協議は事前に受けているんですか。

委 員：ご説明はありました。

委 員：了解されているのなら我々何も言う必要はありません。

委 員：了解も何もご説明はありました。それをするによって効率化が図られる。僕のやっぱり1番引っかかるところは、良くない思いなんだとは思いますが、利便性が向上されるということは、不便を感じる方がタクシーを利用されているわけで、デマンドの方が便利になると、ますます我々の事業を圧迫するのかなとは思いますが。先ほど申しましたが、備前市内で事業をやらせていただいている以上、何らかの貢献ができたらなっているのが1番根底にありまして。そういった意味で、お1人でも多く喜ばれるのであれば、それもやむなしとは思ったりしますが、でもやっぱり従業員の暮らしも守らないといけないし、本当に交通弱者の方の足を確保するという意味で頑張らないといけないと思っていますので、そこらへんのせめぎ合いで非常に苦しんでおります。ただ、先ほども少しお話がありましたけど、タクシーチケットの復活っていうのも実際タクシーの利用のお客様からも現場で色々たくさん頂戴していますし、その辺りも皆さんの方で検討していただけるんだろうということで、将来的に少しだけ希望を持って日々過ごしております。以上です。

委 員：DXですかね、その関係で1億円以上とかいうお話を今初めて聞いたんですけど、そのお金があったらもっと他に使えるのかなと思ったり。それから乗り合いタクシーという形でしょうか、いっぱい利用者から予約の電話が入り、それを調整してここからここまではこの3人を乗せて、途中でこの1人を降ろしていく、そういう調整ができるというシステムなのですか。

事務局：はい。委員のおっしゃる通りになります。

1億円がちょっと1人歩きしておりますが、先ほども言いましたが、その他の保健事業とかと抱き合わせでこの交通デマンド配車システムというものを入れるという風な状況でございます。こちら当然、国の補助金の方も3分の2が補助金をいただくような形になっております。3分の1なので少ないだろうという風なことではございませんが、少しでも多く補助金をもらいながら行っているところです。

会長：その他にご意見等ございますでしょうか。

副会長：本当に皆さんありがとうございます。タクシー業者の方がいろいろ苦勞されているのもよく分かる。それから老人が苦勞されているのも分かる。本当にその折り合いをどこでつけたらいいかということをおみんなで話し合いながらやっていきたいと思っております。今日のこの会だけじゃなく、私、いろんな所へ聞きに行きますので、ぜひ1つ、これをどのような解決方法にしたらいいかみんなで知恵を出しあってやっていけたらと思っておりますので、今回だけではなくちょっと時間がかかりますけれど、やらせていただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（2）備前市営バス及びデマンド型乗合タクシーの運行実績について

事務局：資料に沿って説明

会長：説明について質問があるか。

委員：デマンド乗合タクシー、昨年度の状況をご説明いただいたのですが、その中で複数の乗り合わせというのは、大雑把で結構ですからどのくらいあるのでしょうか。

事務局：複数の乗り合いにつきましては地区にもよって差がございまして、集計を手作業で入力しているので、このうちこの件数がっていう全部は把握ができていないのですが、地区としては日生西、日生東、香登、東鶴山、西鶴山、伊里が多いです。行かれるところの目的地としまして、公民館、たぶん会合があったりという中で乗り合いで行かれるということがあるのと、あとお買い物です。伊里は大半が乗り合いになって、お買い物で2往復されているような実情でございます。

委員：ありがとうございました。そういうような時に調整をうまくできるようになっていくということなんですね。

事務局：はい。

会長：その他ございませんか。

ないようですので、以上で本日の協議事項、報告事項を終了いたします。

ではこれ以降、事務局に進行をお返しします。

6. その他

事務局：次回の交通会議の開催についてと市営バス運転手のサングラス着用について説明。

事務局：その他何かあるか。

委員：私、道路管理者として呼ばれているのですが、仕事柄、いろんな市町村の会議に参加をさせていただいております。

今年度委託をしていく次期計画の策定っていうのが成果として年度の後半には出てくるのだと思うのですが、計画を議論、皆さんのこの場で協議をしていただいて策

定をしていくってということになるのだと思うのですが。

地域公共交通っていうものに、やはりこの市町村によってかなりいろんな方向性がありまして、まず1番多いのが、免許を返されている高齢者の方の暮らしを守っていくっていう方向性でここへ突き進んでいく市町村っていうのは非常に多いっていう風に思います。それ以外に、免許を取る前の高校生が通学できるようにということころへ走っていく市町村もかなり多いと思います。これが若年層、高校生の子が行ける高校が少ない地域っていうのは、どうしてもその若い世代の親が引っ越して出て行って戻ってこないものですから、そういった方向性の市町村が次にかなりというか、比較的いくつか見られる。それ以外の備前市なんかの場合ですと、観光とか市民生活以外の方を輸送する公共交通っていうものが入ってくるのだらうと思います。こういった公共交通っていうのはいろんな市町村によっていろんな考え方を持っていて、その計画がこの場に協議をされて、委員が先ほど言われましたこの公共交通会議で決まったからというお話なのですが、要綱を見ていただいても分かる通り、ここは協議を行う場所で、諮問をし、ご意見を述べたりして、最終的な決定というのは市長様であったり議会ということにならうかと思いますので、ここで皆さんのご意見を聞いて、先ほど私が紹介したような交通のユーザーの方もどういった方をどういうふうに運ぶのかということを計画していくのが次期の計画になるのだらうと思います。

市民の方っていうのは、やっぱり安くて便利なものを求めていますので、先ほど言われたように、マイナンバーカードを提示すれば無料で使えるデマンドタクシーをどんどん使いたいという風なニーズがやはり多いとは思いますが、そうすると、そこ以外の利用を支えていращやるタクシー事業者の方が持ちこたえられなくなるとかいったこともありまして、その最終的な目標を、この計画の中で議論をして計画の中に盛り込んでいくのだらうという風に私は考えております。最終的に備前市が、市民の方に安くて便利な、あるいは無料で便利な市営の公共交通を提供していった民間バス路線というものが淘汰されてなくなっていったとしても、最後まで備前市の市営の公共交通機関を提供していくんだという風に流れていくのか、バランスを取っていこうとするのか、あるいは鉄道なり事業者の路線バスとの噛み合わせと言いますか、そういったものを重視していくのかというあたりも、この計画の中にある程度入っていくのだらうという風に思っております。やはり私以外の委員の皆さんは、ほとんどこの地域の住民であったり利用者の方、あるいは事業者の方ですから、私なんかは道路の管理の目でしか基本的なご意見を申し上げないんですけれども、皆さんはこれからの備前市のためにいろんな視点でこの計画に対する意見を述べていただけたらという風に考えております。道路管理者という立場からちょっと逸脱した意見を申し上げたんですけれども、今後の計画策定について、皆さん協議をよろしく願いたいと思います。以上です。

委員：今日の議論の中でもありましたけれども、今年度は交通計画の策定というか、新しい計画にアップデートの議論がなされる年だということでありましたので、少し鉄道の状況も簡単にではありますがご紹介させていただきたいと思います。

すでもう今日の議論を聞いていてよくわかりましたけれども、地域内のデマンド交通であるとか、そういったところは抜本的な議論が必要なんだろうというのは聞いていて感じたところであります。鉄道においても、公共交通全体で言われていることでもありますけれども、担い手が不足しているであるとかいろんな課題があります。ご承知の通りコロナを経験しまして、弊社の山陽線にしても赤穂線にしても、もちろん他の路線も全てでありますけれども、大きくご利用がどんと減少したわけがあります。もちろんそこから少しずつ今、回復を、少しずつではありますけれどもしていった傾向にあります。ただちょっと私も明確な原因が特定できていないのですが、備前市さんに関連するところで申し上げますと山陽線、三石であるとか吉永であるとかから岡山方面に向かう方が多いと思うのですが、山陽線のご利用は徐々に毎年回復してきているのですが、赤穂線、寒河から香登まで備前市内ありますけれども、赤穂線のこの区間は戻り方が右肩上がりに戻ってなくて、一旦がくんと減ったまま今横ばいをたどっている状況であります。もちろん、沿線の人口がそもそも減っているとか色々あろうかとは思いますが、他の線区に比べてこのエリアが鉄道のご利用がちょっと戻りが鈍いという状況で、我々もちょっと危機感を持っています。ぜひ、今日いろんな議論がありましたけれども、交通というのはいろんなものが役割分担をしながらやっていかなきゃならないと思っています。デマンドタクシーというものが必要な時間帯とか、そういうものが必要な人もいれば、当然タクシーが必要だという方もいて、バスがあつて鉄道があつてということだと思いますので、ぜひそのための公共交通計画だと思いますので、今後私もここに委員として入らせていただいているわけですので、必要なデータとか提供する必要がありますし、ぜひ備前市の公共交通、鉄道も含めまして皆さんと一緒にどういう風に公共交通を、全体を守って、維持して、使いやすいものにしていくのかということと一緒に議論させていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員：香登地区で2号線が大幅に改修されている時期なんですけれど、実は老人クラブの役員の中で、香登駅のすぐ前の交差点がもうちょっとうまく改修されたいのになという話が出ていまして。5メートルぐらいずれた状態で、今、十字路に近い形になっていて、信号機は1つの交差点として設置されていて、方向指示器をどのように出したらいいのかというのがややこしくなっていまして。今ちょうど、工事に合わせてそういう改修ができればなというような意見が出ていましたので。

事務局：県。分かりますか、国道2号線。

委員：国道2号線と市道。

事務局：国道2号線に駅から出るところが要はまっすぐになっていなくて。

駅前が市道になるのかな。駅前はJRの用地ではないですね。

委員：はい、多分違います。

委員：建設事業になると思う。私は、道路管理者と言いながら、国道2号線の管理はしてないんですけれども、国道2号線自体のつていうよりは、これはそこに交差する、入っていく路線の道路管理者によって交差点改良というのは必要なんだろうと思

ますので、そこはその国道 2 号線に交差していく方の路線の道路管理者で計画が必要なのかどうかという検討をしていただいて、そこに対して事業化をしていくっていうことになると思うんですが、国道 2 号線にくっつくところの交差点改良というのは想像するに非常に大きなお金がかかります。ですから、その事業者によく言われるのは、自治会要望とかあるいはその住民の方からの要望をしていって、そこで事業化をできるかどうかということを議論いただくような、テーブルに載せていただくという手順が必要なのかなと思います。

委 員：ありがとうございます。

事 務 局：その他皆様からございますか。

委 員：先ほどから、公共交通計画の策定の話が今年度改定ということで進んでいくっていう話が出ているんですけども、予算承認案の時にバイタルリードさんと契約してこれから作業を進めていくという話が事務局からあったかと思います。せっかくでするので、事務局の方から今後のスケジュール感的なものがあれば委員の皆様にご説明しておいていただいた方がいいのかなと思うんですけども、その辺りがある程度、今後こういう作業があって、どれぐらいのタイミングで議論していく必要があるということがありましたらちょっと教えてください。

事 務 局：これから詳細なスケジュールは詰めていくところでございますが、まずはこれから契約を行いまして、抽出になりますが、アンケート調査、市民を対象に抽出を行いまして、アンケート調査を行っていきます。

そちらのアンケートの結果を持って分析を行いまして、計画の方に反映させていくのですが、そういった計画の中で、ある程度の計画の方向性とか素案とかいったものが決まってきましたら、順次交通会議を開催いたしまして皆様にご提示させていただき、ご意見いただく。また、そのご意見をいくらか反映できるものを反映するといった感じで進めていきたいと思います。

これから契約等々を実際行ってスケジュールはこれから詰めていきますので、回答はできなくて申し訳ありませんが、順次提示できたらと思っております。よろしくをお願いします。

その他、ご意見等ございませんでしょうか。

ないようですので、以上を持ちまして令和 7 年度第 1 回備前市公共交通会議を終了いたします。本日はご出席ありがとうございました。